

計画事業番号	00879	事務事業名	健やか子育て支援事業	担当部署	企画財政部企画課	電話	3606
--------	-------	-------	------------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務	根拠法令等	児童福祉法第6条の3第14項、子ども・子育て支援法第59条第12号、北広島市出産祝金支給要綱、北広島市ファミリー・サポート・センター利用無料券事業実施要綱				
事務事業開始年度	平成28年度	個別計画等	・北広島市まち・ひと・しごと創生総合戦略 ・北広島市子ども・子育て支援プラン				
〃 終了予定年度	-						
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 6 章)	にぎわい・活力のあるまち
	(第 1 節)	地方創生の推進
	(施策 1)	妊娠・出産・子育て環境の充実
2 対象	市民	
3 目的と内容	子育て世帯の経済的負担の軽減と、出産後における育児支援等を目的に、出産祝金とファミサポの利用無料券を交付する。	
4 実施内容(手段)	28年度まで	・出産祝金(1万円)とファミリー・サポート・センター利用無料券(4時間分)の交付
	29年度	・昨年度と同様に出産祝金(1万円)とファミリー・サポート・センター利用無料券(4時間分)を交付

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
・出産祝金の支給 ・ファミリー・サポート・センター利用無料券の交付	・出産祝金の支給(357件) ・ファミリー・サポート・センター利用無料券の交付(53人うち利用18人)	・出産祝金の支給 ・ファミリー・サポート・センター利用無料券の交付	・出産祝金の支給 ・ファミリー・サポート・センター利用無料券の交付	・出産祝金の支給 ・ファミリー・サポート・センター利用無料券の交付

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	—	平成28年度からの新規事業	
1次評価	現状継続	総合戦略に基づく事業であり、継続して実施する。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

「拡大」
「現状継続」
「要検討」
「見直し」
「統合」
「休止・廃止」
「終了」

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			3,696		3,597		3,989		4,289	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	3,696		3,597		3,989		4,289	
	① 合計	3,696		3,597		3,989		4,289		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	420	0	420	0	420	0	420	0	
総事業費①+④			4,116		4,017		4,409		4,709	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	① 出産祝金の支給	件	420	340	370	400
		目標値				
		実績値	357			
	② ファミリー・サポート・センター 利用無料券の交付	件	80	60	60	60
	目標値					
	実績値	53				
	③	目標値				
		実績値				
	④	目標値				
		実績値				
成果指標	① 出産祝金支給割合	%	100	100	100	100
	支給者/対象者		100			
	② 利用無料券利用人数	人	40	30	30	30
	利用人数		18			
	③	目標値				
		実績値				
	【指標の定義(算式等)】					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	将来のまちを担う子どもたちの誕生を祝福するものであり、お祝いを贈呈することは妥当である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	2	制度開始以降、該当するすべての方にお祝い金を贈呈している。ファミリー・サポート・センター利用無料券については、目標値を下回っていることから、利用拡大に向けた検討が必要である。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	お祝い金等を贈呈するという事業の性格上、成果の向上を求めるものではない。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	事業費の大部分はお祝い金等の贈呈に要する経費であり、事業の性格上、成果の向上を求めるものではない。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】

法律の義務付けあり

法律の義務付けなし

【民間活力の活用性評価】
(事業担当部局が評価)

民間等での実施または市民等との協働が可能である。

民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。